

小児がん検討会議 意見報告

1. 概要

次期がん対策推進計画骨子（小児・AYA 世代部分）に係る書面による意見照会

2. 意見要旨

(1) 次期島根県がん対策推進計画骨子について

- ・家族という一括りではなく、きょうだいのフォローや支援も明記したほうがよい。
- ・他の世代のがん患者よりはるかに長い期間、生活を送る小児・AYA がん経験者は、進学・就職・結婚・出産・子育て・老後など、一生がんがつきまとう。治癒率が 8 割～9 割になってきている今だからこそ、30～50 年先を考えたロジックモデルが作成できればと思う。
- ・抽象的で分かり辛い。より具体的な手立てを今後設定してほしい。
- ・実態調査は、何を聞くのか、対象をどうするのか、どのように調査するのか、十分な検討が必要。
- ・小児の特徴で「成長・発達の途上」ということがあり、その事が保障できなければならぬのでは。大きな目標として、「患者さんが成長・発達する権利をできるだけ阻害されないで生活でき…」ということを加えてもよいのではないか。

(2) 今後の小児・AYA 世代のがん対策について（具体的に取り組んでほしいこと）

【医療】

- ・長期フォローアップ体制の検討（治癒後の継続的なフォロー、晩期障がい早期発見と対処）
- ・がん診療を担う医師へ、生殖機能の温存について周知
- ・診療情報（電子カルテ）の共有
- ・治療によって失われた予防接種の抗体の再接種の定期接種に向けた取り組み

【保育・教育・就労】

- ・治療中の幼児や、治療後でも合併症が生じてケアが必要な児を地域の保育園、幼稚園が受け入れられるよう、啓発・連携を強化
- ・高校生の患者への支援を関係機関で検討（課題の理解、好事例の共有、対応の検討 等）
- ・小児・AYA 世代のがん患者も含む就労支援の実施（訓練施設の設置 等）

【相談、支えあい 等】

- ・ 小児・AYA 世代の経験者が集まれるグループづくり、交流の場を設ける
- ・ 相談先の周知（どういう場がありどんな立場の人がいるのか 等）
- ・ 経済的支援（休学中の授業料、在宅福祉用具の費用、フォロー時の医療費 等）
- ・ 西部や隠岐など遠方から支える保護者の身体的、経済的負担の軽減
- ・ 啓発活動の継続実施（市民公開講座 等）

小児がん検討会議 委員名簿 (H28～H29 年度)

【部会委員】 ◎…議長

(50音順)

	氏 名	所 属 等
協議会委員	◎竹谷 健	島根大学医学部 小児科 教授
	榎原 貴子	島根大学医学部医療サービス課 がん専門相談員 (がん患者家族サポートセンター)
協議会委員以外	天野 高生	小児がん経験者
	及川 馨	及川医院院長 (島根県小児科医会 会長)
	太田 桂子	島根大学医学部医療サービス課 技術専門職員 (附属病院 地域医療連携センター 医療ソーシャルワーカー)
	大庭 聡子	小児がん患者家族
	鬼村 修治	出雲市役所子ども未来部保育幼稚園課 課長補佐
	金井 理恵	島根大学医学部 小児科 講師
	佐藤 真司	島根県教育庁特別支援教育課 課長
	竹本 和代	島根大学医学部附属病院 看護部 師長
	錦織 三千子	島根労働局職業安定課 職業紹介係長
	萬代 由喜子	島根県立中央病院 社会福祉士
	三浦 妙子	小児がん患者家族
溝上 達也	島根県立中央病院 脳神経外科部長	